

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

討議年月日: 令和 4年 2月 7日

公表: 令和 4年 2月 28日

事業所名 放課後等デイサービス ワンズ J

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5	2		・クールダウン、相談、静のあそび、動のあそび等区切って活動している。	・利用人数が多い時かつ体を動かす活動の際には狭いと感じることもある。
	2 職員の配置数は適切である	5	2			・送迎時等にトラブルが起きると、人数が足りないと感じることもある。
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている		5	2		・2階まで行くのに階段のみ、車イスでは移動できない。
業務 改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	7				
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	3			
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	7			・HPに公開。	
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			7		・必要に応じて検討していく。
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	6	1			・今後もさらに研修の機会を増やせれば良い。
適切 な 支 援 の 提 供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6	1		・時間をかけていていないに行っています。しかし十分に時間がとれないのが課題です。	
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	5	2			
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	5	1	1	・子ども達の発達や課題、状況にあった立案をたてるよう努力しています。	
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	7			・児童の成長や季節等を考慮して活動プログラムを決めている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	7			・子どもの発達、状況、人数に合わせて課題を決めて、支援を行っています。	
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	7				
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7			・事前にロールプレイや打ち合わせの時間を設けている。	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	1		・共有した上に必ず記録し課題を明確にしています。	・全職員では行っていない日があるため、時間の設定等の工夫が必要。急を要すること以外は翌日のMTGで共有し、対応している。
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	7				・記録は毎日つけているが、支援の検証や改善につなげられていないこともあるため、今後、記録のとり方について検討していく。
	18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	5	2			
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	2	5				
20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6	1				
21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	3	4			・長期休み前等に連絡をし調整を行っているが下校時刻が急遽変更となった際に共有不足がある。	

関係機関 や保護者 との連携	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている		6	1			
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4		3		・必要に応じて就学前の情報を取得したり移行支援会議に出席し相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	1		5	1		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3		4		・専門機関が開催する研修に積極的に参加し、職員のスキルアップに努めている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			2	5		・コロナ禍で交流は難しい。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	1		4	2		
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7					・送迎時や保護者相談会(バル)等で主に行っている。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っている	3		2	2		・困り事があれば話し合う機会を設けて支援を行っている。
保護者への 説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	6		1			・契約時に説明している。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		2			・子育ての悩みや困りごと等の相談があった場合は、保護者によりよいながら傾聴や助言等をしてい
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	4		1	2		・定期的に保護者の集まる機会を設けている。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	4		3			
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	1		5	1		・連絡帳やブログ、SNSで活動を発信している。
	35	個人情報に十分注意している	7					
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	6		1			・文やイラストなどを使い、目で見てわかるようにしたり、簡潔に話すようにしている。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている			2	5		・コロナ禍で招集するのは困難である。
非常時 等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4		3			・職員間で共有はしている。保護者に対して周知していきたい。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		1	1		・スタッフ、児童が参加する訓練を行っている。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4		3			・チェックリストを作り共有したりなど学ぶ機会を工夫している
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2		5			
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4		3			・保護者と確認を取りつつ、提供するものの原材料を必ず確認している。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		2			